

環境月報

*Environmental Activity
Monthly Report 1.January*

1
'12 Jan.1~31



サンシングループ

サンシングループ環境方針



環境理念

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果を追求し、継続的な製品供給とRoHS対応製品の開発など地球環境にやさしい先進技術を通し、電機業界および社会へ貢献して参ります。とくに、地球環境保全のための諸活動を重要なCSRと認識し、継続企業としての責務を果たしつつ、将来にわたり地球環境の保全に貢献して参ります。

環境方針

1. 事業活動において、省資源化、廃棄物質の削減、環境関連物質の管理を徹底し、環境の維持・改善および環境汚染の予防をはかって参ります。
2. 環境に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスを徹底して遂行し、環境保全に貢献して参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた具体的な目的・目標を設定し、数値により管理できる判りやすい環境管理システムを構築・運営して参ります。
4. 環境管理システムは、定期的な内部監査・マネージメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な継続改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一歩一歩、着実に具現化して参ります。

平成19年8月24日
サンシングループ
代表 石井宏宗

石井宏宗

今月のグループ代表の一言

今月のグループ代表の一言



「Life cycle assessment (LCA)という概念がある。

これは、商品の製造からリサイクルまでの環境影響を評価するという意味であり、企業など環境活動の指標として広くもちいられている。

原発もそのひとつであり、発電システムのなかでは導入・運用・処理のLCAがもっとも適切とされてきた。

しかしながら、最近の試算ではLCAとして非適切とされてきた火力発電よりも、原発のLCAは非効率であり事故などを想定するとトータル・コストは高いという。

案の定というべきか。

政治的バイアスがかかった恣意的な数値ほど、信用できないものはない。

SANSHIN GROUP
代表 石井宏宗

1月号 INDEX

1月号 INDEX



- PAGE 1 ……今月の表紙
- PAGE 2 ……サンシングループ環境方針
- PAGE 3 ……今月のグループ代表の一言
- PAGE 4 ……INDEX
- PAGE 5 ……今月のトピックス

PAGE 5 …… ドギーバッグと食料廃棄

各管理項目の今月の状況

—各項目の今月の監視測定結果詳細—

- PAGE 6 …… ECO検定
- PAGE 7 …… 各廃棄物(SSD／本社)
- PAGE 8 …… 各廃棄物の割合(SSD／本社)
- PAGE 9 …… ペットボトルのキャップ(SSG)
使用済み切手(SSG)
- PAGE 10 …… コピー用紙使用量(SSD／本社・関西)
- PAGE 11 …… 電力使用量(SSD／本社・関西)
- PAGE 12 …… 電力使用量(SKW／朝日)(SFN)

- PAGE 13 ……各部門の活動報告・提案

PAGE 13 …… LED照明用電源 LINE UP

今月のトピックス

ドギーバッグプロジェクトと食料廃棄

飲み会・結婚式・BBQ・レストランでの外食時…

食べ切れなかったものを、持って帰られたらいいな
と思った事はありませんか？

外食の際の食べ残し…

皆さんはどうしていますか？そしてどう思われますか？

今や日本の食糧自給率は40%を切り、先進国の中でもダントツの
ワースト1位です。また、残飯廃棄率は世界トップクラスです。
TPP問題・食品ロス・農家問題・食糧廃棄・減反…すべての社会
問題が密接な関わり合いを持ち、私たちが環境に興味を示して
何かをしなければいけない時代に来ています。

そんな中…見落とされがちな「食べ残し」について、真剣に
取り組んでいくのがこの「ドギプロ」です。



ドギプロとは…

「ドギーバッグプロジェクト」(食べ残しを持ち帰る)

「食べ残し」を持ち帰ることに對し、未だ抵抗を持っている方々が多い日本ですが、欧米では
当たり前に行われており、日本国内でも徐々に取り入れる飲食店も登場しています。
残った料理・取って残した料理は「もったいない！」の精神から持ち帰り、食品ロスを減らしましょう。
また、繰り返し使用できる「ドギーバッグ」は大手量販店やネットなどで手に入れることができます。



〈ドギーバッグ〉

食糧廃棄と食品ロス

日本の外食産業や業者が1年間に廃棄する食品の量は、**1200万ト** (東京ドーム6個分)です。
そのうち、まだ食べられるのに捨てている食品(食品ロス)が年間**500~900万ト**も排出されています。

また、小売店やレストランだけではなく、家庭からも年間**200~400万ト**もの大量な食品ロスが
発生しています。

捨てられる理由としては…「鮮度の低下・腐敗・カビの発生」が6割

「消費期限・賞味期限が過ぎた為」が5割

また「安全性に不安」などが理由として挙げられています。

まず、家庭の食品ロスを減らすには…

- ① 買い物前に在庫を確認する。
- ② 冷蔵庫の保存方法を工夫する。
- ③ 賞味期限と消費期限を確認する。



また、飲食店側からドギーバッグを積極的にオススメ
することにより、食品ロスが減るだけでなく、飲食店
側からのメリットとしても、廃棄する為のコストが削減
でき、その分でお客様の満足度に繋がられるサービ
スを提供できるようになる事も挙げられます。

廃棄されてしまう食料を輸送し、焼却される過程でもCO₂は大量に
発生しています。

食べ物を大切にすることで、CO₂も削減できるのです。



サンシン電気でも、CO₂削減を目的とし、コピー紙や電力削減・またゴミの分別に努めています。
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。 \ (o^▽^o) / (事務局)

環境ラベル

環境ラベルとは・・・近頃、いろいろな製品や包装ラベル・製品の説明書、広告・広報などに環境に関するラベルがつけられています。これは、製品やサービスの環境影響に関する情報を消費者に伝え、環境に配慮した製品の優先的な購入・使用を促すために設けられたものです。

<<<環境ラベルの種類と特徴>>>

現在、さまざまな環境ラベルが使われていますが、環境ラベルには日本工業規格で標準化したものと、法規制等で決められたもの、および地方自治体で独自に決めた物などがあります。

(1) 日本工業規格で定められている環境ラベル

日本工業規格では、ISO規格のもとに、環境ラベルを次に示す3つのタイプに分けています。

①タイプⅠ

学識経験者・有識者などの第三者が、環境配慮型製品の判定基準を制定し、認証するものです。日本では**エコマーク**が該当します。

この種の環境ラベルは、各国で発行されています。



②タイプⅡ

企業や業界団体などが独自の基準を設定し、自主的に製作した環境ラベルです。企業や業界団体が、基準を満たしたと判断した製品に対して自ら付与するものです。製品の環境改善を市場に主張するときや、宣伝広告などに使用されます。



③タイプⅢ

タイプⅠ・タイプⅡの環境ラベルと異なり、基準が無く、製品の環境負荷をLCA(ライフサイクルアセスメント)による定量的なデータとして表示し、環境配慮型製品としての判断を購入者に委ねるものです。ここで表示されるLCAの結果は、第三者の審査機関で検証されたものだけです。

この環境ラベルは、現在スウェーデンやカナダなどで実施されており、日本でも(社)産業環境管理協会が「**エコリーフ**環境プログラム」を、(財)日本ガス機器検査協会が「**EPD**プログラム」をスタートさせています。



(2) 法規制等で決められた環境ラベル

法規制等で決められた環境ラベルには、資源有効利用促進法にもとづいて指定表示製品に義務づけられている識別表示マークや省エネルギーラベリング制度による省エネラベル、統一省エネラベルがあります。

識別表示マークは、指定表示製品の材質を示すもので、分別回収やリサイクルを通して資源の有効利用を促すことを目的に表示したものです。



省エネルギーラベリング制度は、機械器具の性能向上を目的として、省エネ法で定められたトップランナー方式の省エネルギー基準に関する情報を表示することを定めた制度です。この制度で使われているラベルが**省エネラベル**で、表示方法は2008年にJIS規格で標準化されています。

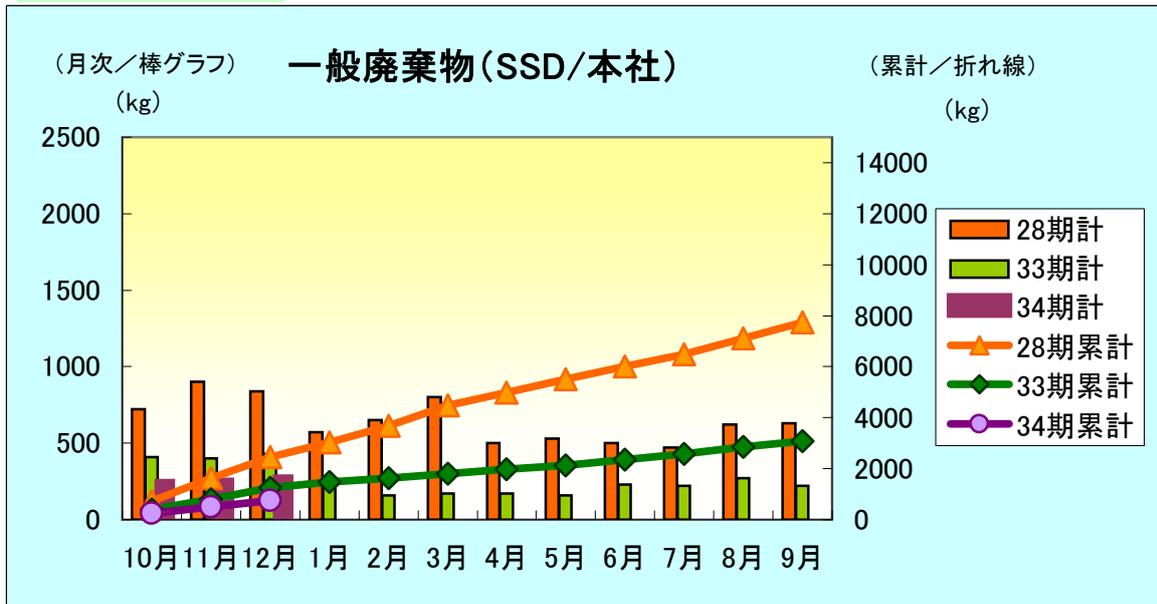
2010年現在、エアコン・テレビ・冷蔵庫、電子レンジやパソコンなど18品目を対象に、省エネルギー基準の達成度合を示す省エネ性マークと、省エネルギー基準の達成率、エネルギー消費効率、目標年度の4項目の情報が決められています。

目標達成(橙)		省エネルギー消費効率 90%	省エネルギー消費効率 6.0
目標未達(緑)		省エネルギー消費効率 100%	省エネルギー消費効率 6.6

統一省エネラベルは、2006年の省エネ法の改正により小売業者に対する省エネルギー情報提供の努力義務が規定されたことから、省エネラベルをもとに省エネ性相対評価(省エネ達成割合)、年間の目安電気料金、製造事業者名等を記載したラベルで、エアコン・冷蔵庫・テレビについて2006年10月より開始されました。このラベルは、カタログや販売店の下げ札などに表示され、消費者が省エネルギー性能の高い製品を選べるようにしています。



SSD(本社)

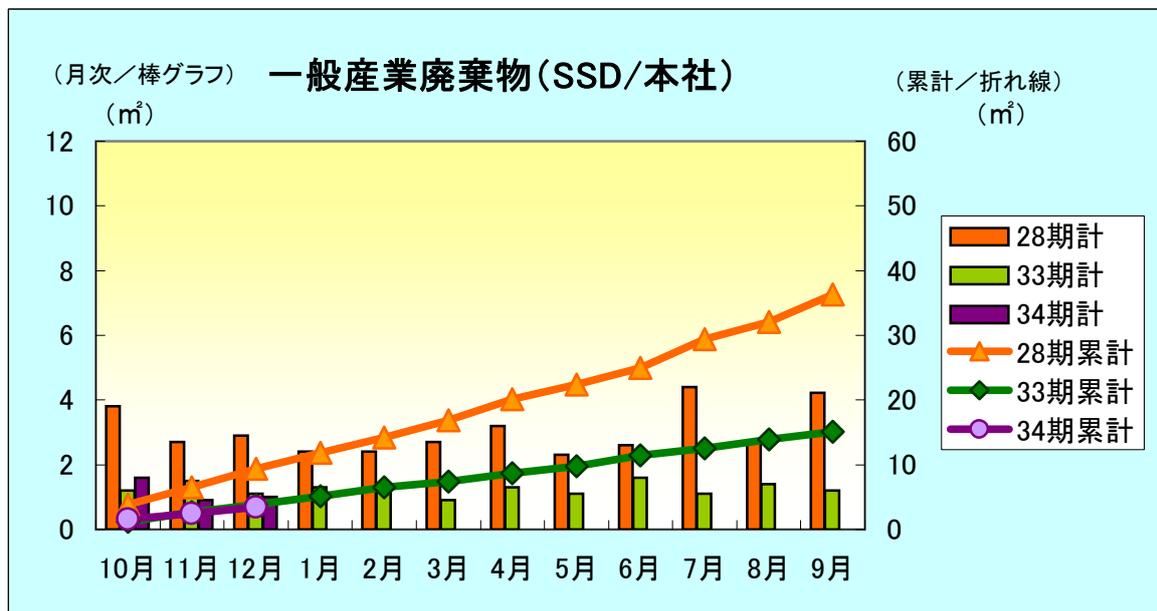


考察:

今月も前年同月比約4割削減しています。

(事務局)

SSD(本社)



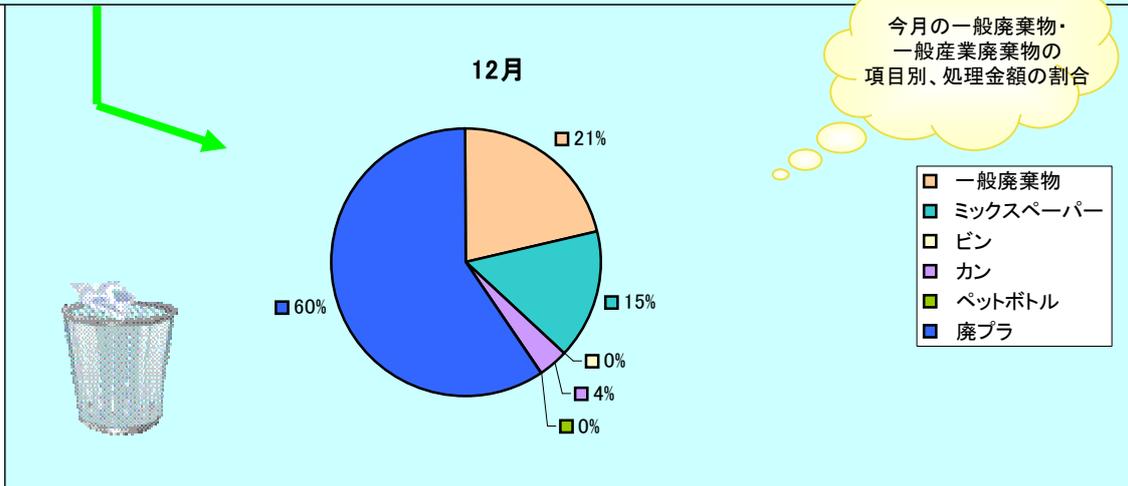
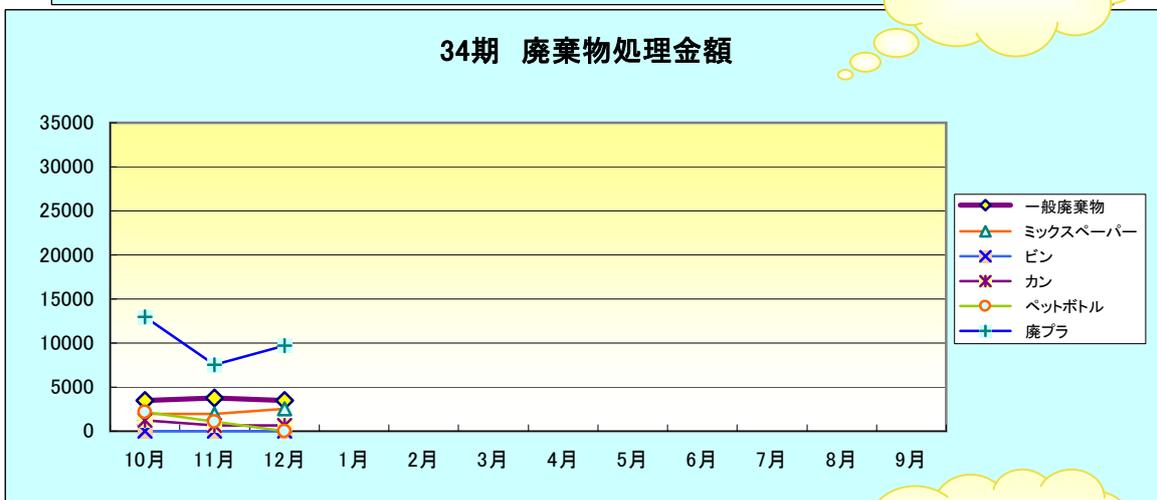
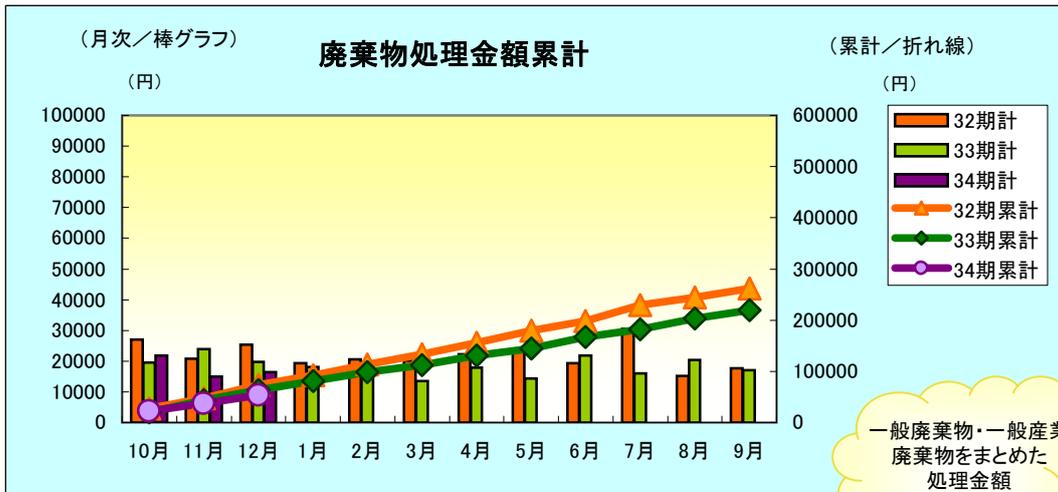
考察:

前年同月比、約1割削減しています。

参考: サンシン電気(本社) 2F_実験室等での、廃棄部品・基板などが次の価格で売却処理ができます。 基板…15円/kg 部品屑…15円/kg 配線屑…20円/kg

(事務局)

SSD(本社)



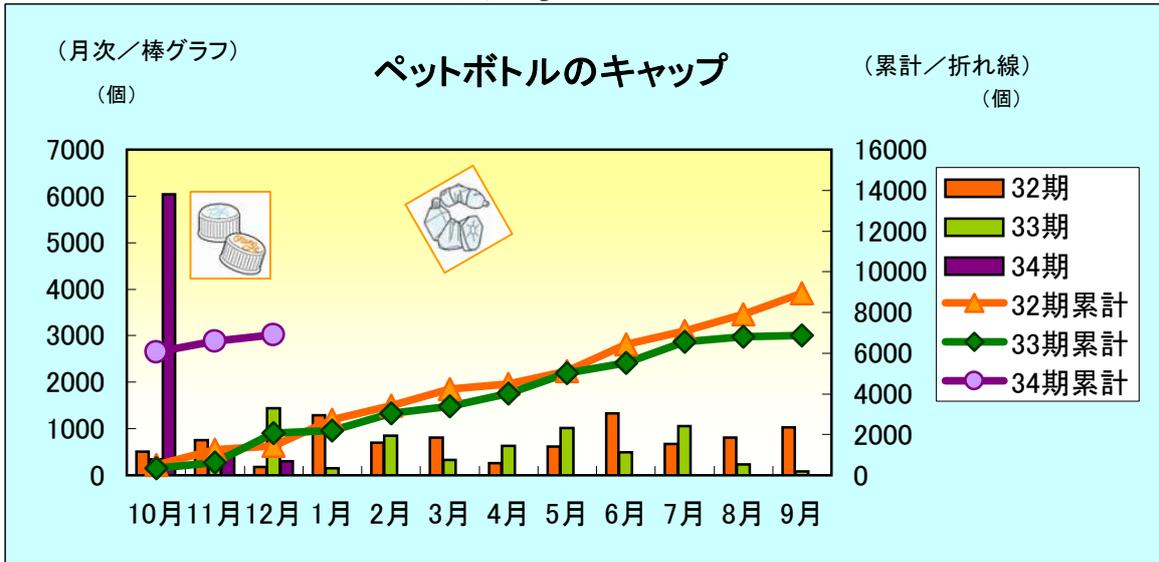
考察:

年々減少しつつあるものの、常に廃プラの割合が多くなっています。なるべくかさばらないような廃棄方法を工夫して頂けますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。(*^-^)/\(^-^*)

(事務局)

SSDグループ全社

換金率:PETボトルキャップ
400個(約1kg) = 10円

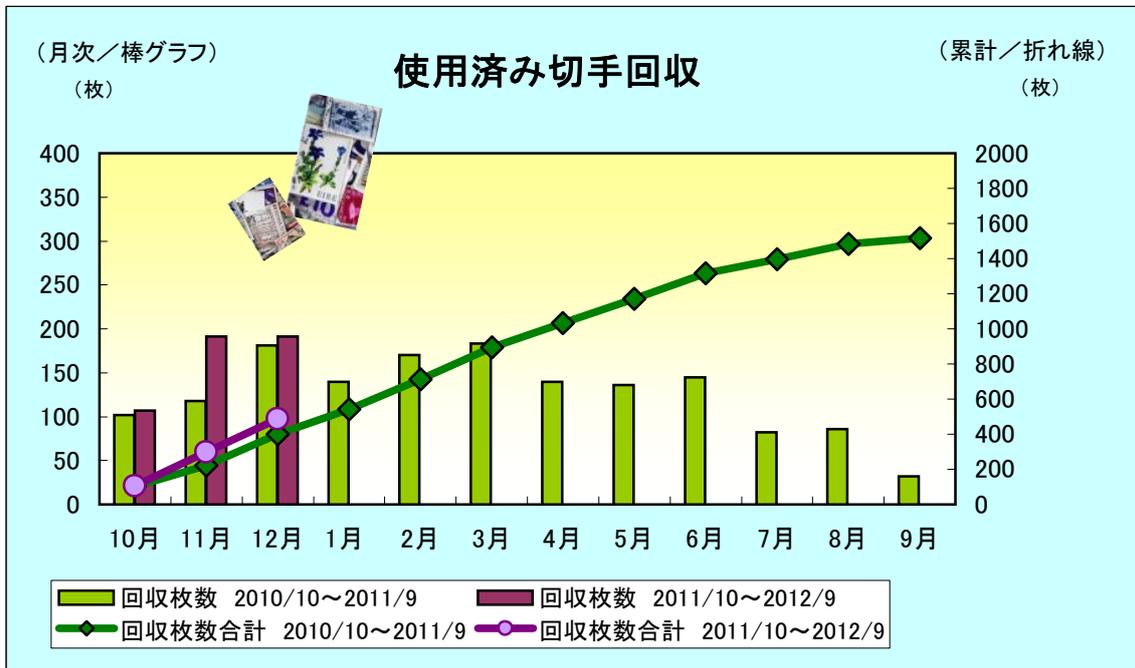


考察:

1月 6日(金)に回収に来ていただきました。
CO2削減量の報告が来ましたら、ご報告いたします。

(事務局)

SSDグループ全社

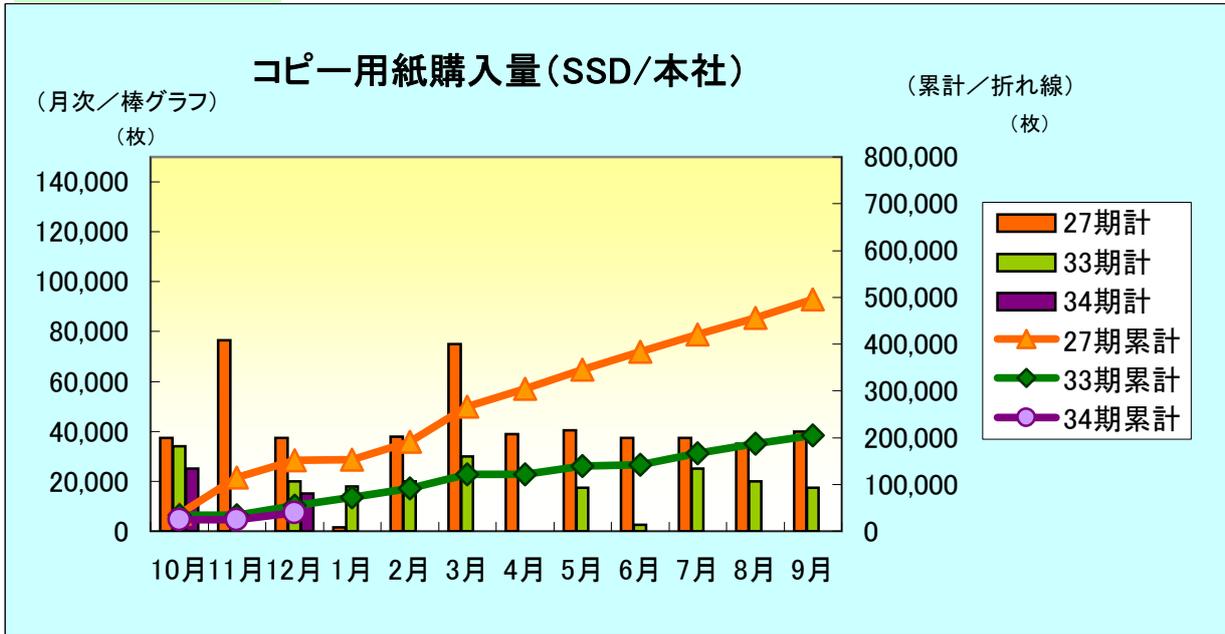


考察:

封筒に貼ってある切手を回収しています、ご協力宜しくお願いします ♪

(事務局)

SSD(本社)

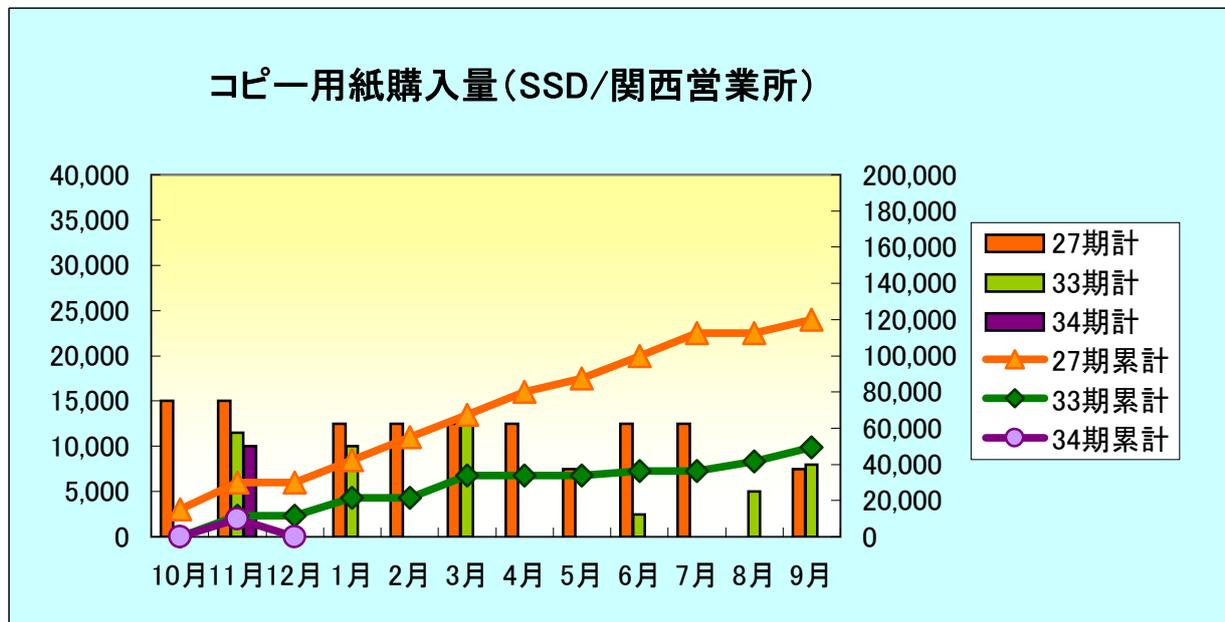


考察:

購入量の前年累計比だけを見ても、25%削減できています。
今期もコピー用紙の削減に、ご協力をよろしくお願いいたします

(事務局)

SSD(関西営業所)

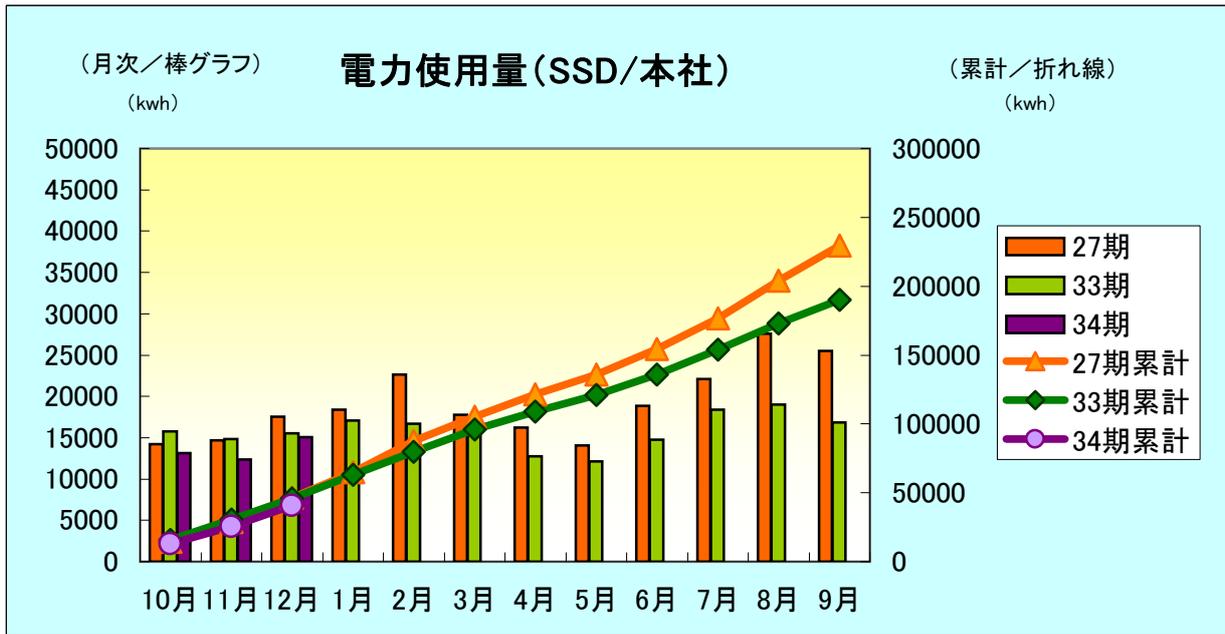


考察:

34期は前年比より大幅増加しないよう、経過観測中です。

(事務局)

SSD(本社)

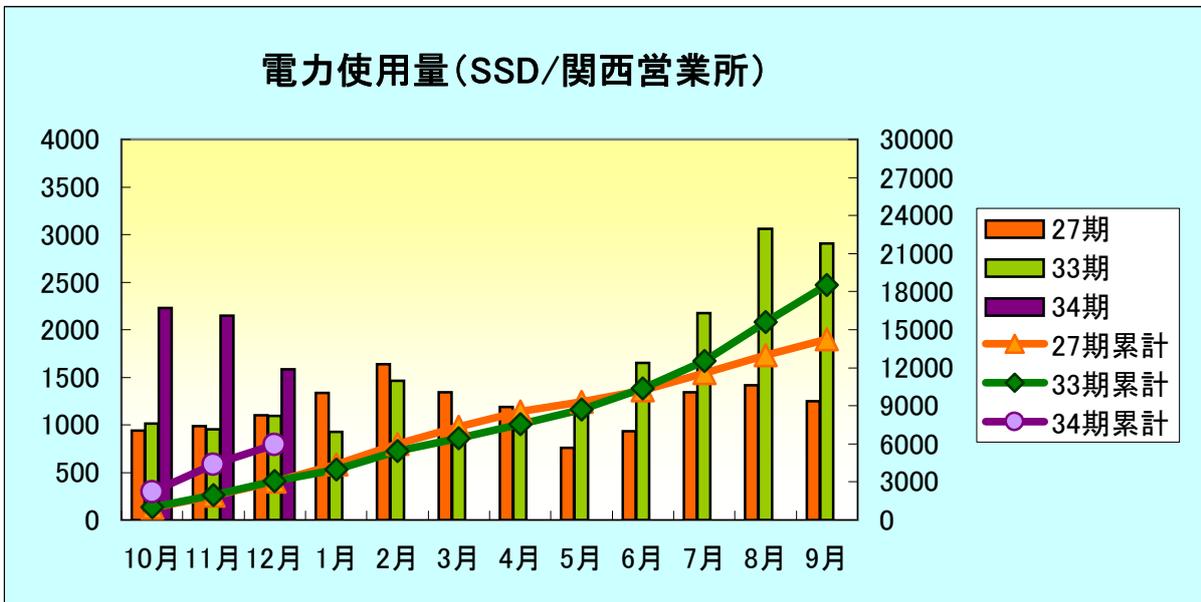


考察:

前年累計比,約17%も削減しています。

(事務局)

SSD(関西営業所)

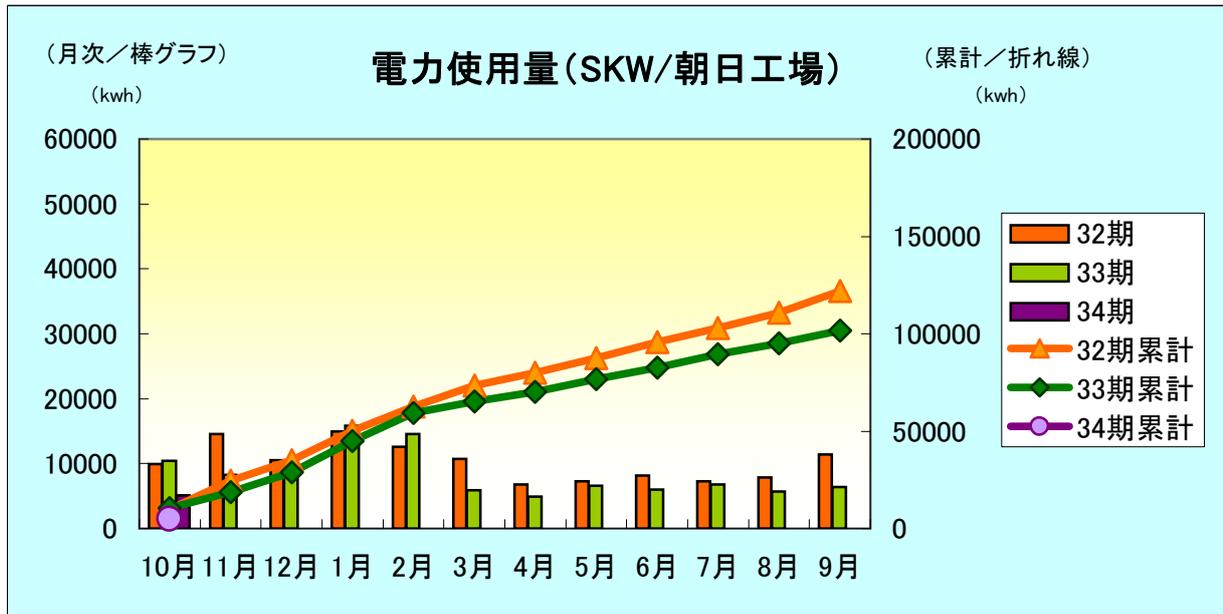


考察:

継続監視測定中

(事務局)

SKW(朝日工場)

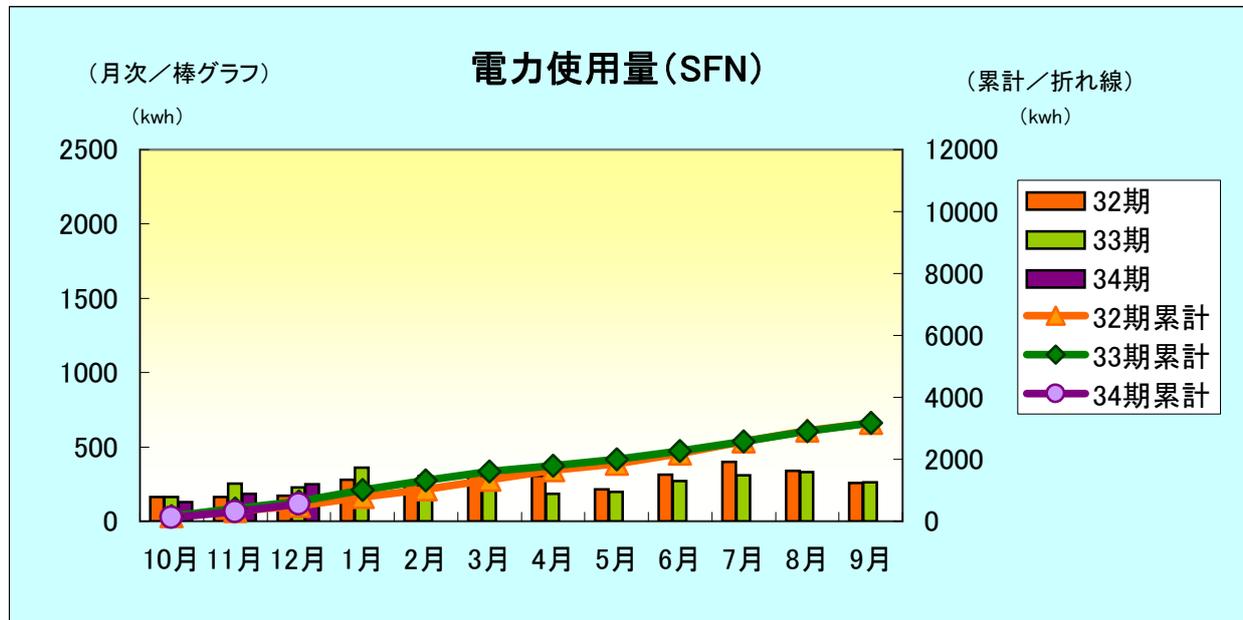


考察:

継続監視測定中

(事務局)

SFN



考察:

継続監視測定中

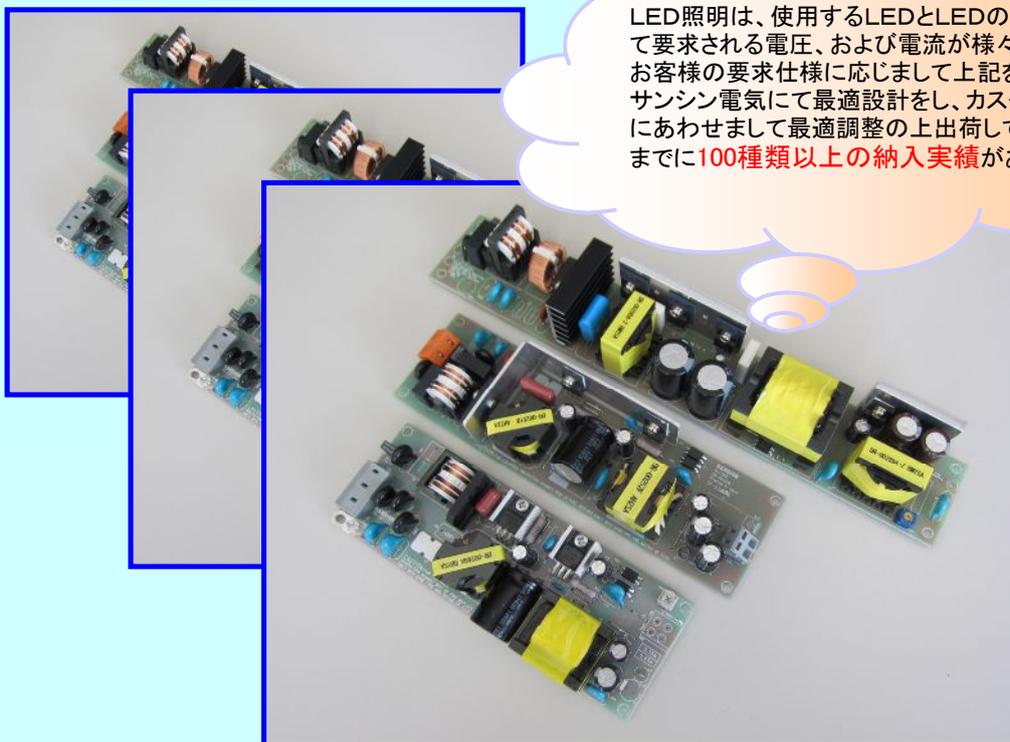
(事務局)

サンシン電気製:LED照明用電源 LINE UP

今回は、サンシン電気にて量産中・および開発中のLED照明用電源のLINE UPの中から代表的なものをご紹介します。

TYP	出力定格	絶縁区分	制御方式		調光	デリバリー
①	13W	絶縁	定電流	定電圧	無	量産中
②	26W	絶縁	定電流	定電圧	無	量産中
③	26W	絶縁	定電流	定電圧	有	開発中
④	48W	絶縁	定電流	定電圧	無	量産中
⑤	48W	絶縁	定電流	定電圧	有	開発中
⑥	70W	絶縁	定電流	定電圧	無	開発中
⑦	70W	絶縁	定電流	定電圧	有	開発中
⑧	100W	絶縁	定電流	定電圧	無	開発中
⑨	20W	非絶縁	定電流	定電圧	無	量産中
⑩	40W	非絶縁	定電流	定電圧	有	量産中
⑪	80W	非絶縁	定電流	定電圧	有	量産中
⑫	100W	非絶縁	定電流	定電圧	有	量産中
⑬	150W	非絶縁	定電流	定電圧	有	量産中
⑭	200W	非絶縁	定電流	定電圧	有	量産中

LED照明は、使用するLEDとLEDの配列によって要求される電圧、および電流が様々です。お客様の要求仕様に応じまして上記をベースにサンシン電気にて最適設計をし、カスタマー仕様にあわせまして最適調整の上出荷しており、これまでに**100種類以上の納入実績**があります。



サンシン電気(株)では、今後も環境に配慮した製品を開発し続けていきます。
(開発技術部)